



少年の主張で県優秀賞

佐藤 なぎささん 15歳  
高花台二丁目

## 震災の日を新たなスタートに

「今なお続く原発事故、そして地震、津波と三重苦を抱えた日本。失ったものはたくさんありますが、ここから得たものを一つ一つ確かめていくことが前に進むためには大切なことではないでしょうか。」

皆さんは、今回の震災で何を学びましたか。どんなに辛い状況が立ちまわっていても、あきらめないで前向きに進むこと、そして、自分を支えてくれる人々の存在に感謝すること、これが、今回私が震災で得られたかけがえのないことです。」

福島県から本市に避難してきた佐藤さん。少年の主張県大会で、東日本大震災の経験を書いた作文が優秀賞に輝いた。

「学校で少年の主張を書くことになり、すぐに震災のことを書くかと思いましたが、事実やその時の会話が、できるだけ正確

に伝わるように気を付けました」

仕事のため父親と姉は福島に。現在は、母親と兄との3人暮らしだ。

「家族が離れて暮らすことになって初めて、お父さんが精神的に家族を支えてくれていたことに気付きました。避難所や新しい土地での生活を支えてくれた人たちからも多くのことを学びました」

中1の時に海外派遣でオーストラリアへ行った経験から、将来は国際交流の舞台で活躍したいと話す。

「外国に行って、言葉が通じなくても多くの人の優しさが伝わってきたことが印象に残っています。世界で、貧しさで困っている国の役に立ちたいです」

高校や大学でも国際ボランティアに参加したいと話す佐藤さん。そのまなざしは、すでに未来に向かっていている。

## 前橋

## ウォーカー



## 富士見地区

## 赤城山で春の訪れを探す

だんだんと春の訪れが感じられるようになってきました。今回は春を探して富士見地区を歩いてみましょう。

片道約4キロのコースのスタート地点は、道の駅ふじみです。ここは赤城山を訪れる人たちが気軽に立ち寄れる休憩スポットとして人気を集めています。農産物直売所「風ラインふじみ」や富士見温泉見晴らしの湯ふれあい館、展望台などのたくさん施設があります。

国道353号線を西へ進むと、珊瑚寺



散策後は道の駅ふじみに戻り、温泉に入ったりフレッシュしてみたいかがでしようか。天気の良い日には、大パノラマの関東平野が一望できます。



富士見温泉見晴らしの湯ふれあい館



ひっそりと咲くザゼンソウ

が見えてきます。1, 2000年の歴史を持つこの寺は、数多くの文化財と古くから伝わる七不思議があることで有名です。また、サクラなどの名所として東国花の寺百ヶ寺の一つに名を連ねています。

珊瑚寺西の石井の交差点から北へ。看板を頼りにしばらく進むと、ザゼンソウの群生地があります。僧侶が座禅をしている姿に似ていることからその名が付いたザゼンソウ。この場所では約1, 000株が春の訪れとともに地表に顔を出し、花をつけます。ことしは3月中に見頃を迎えます。

## クローズアップ



## 大自然の宝庫、赤城山を満喫

2月11日、赤城山第3スキー場で赤城山雪まつりを開催。パン食い競争や宝探しゲーム、スノーシュー体験ツアーのほか、関連イベント「赤城山の中心で愛をさげろ」が行われました。訪れた人たちは、白銀の大自然に囲まれ、楽しいひとときを過ごしました。



## 楽しく遊んで体力づくり

2月19日、市民体育館で市立保育所の年長児を対象に体操教室を開催。参加した児童95人は、実際に保育所で使用している平均台などの移動式遊具を使って体を動かしました。今後も、子どもたちの身体能力向上のため、さまざまな施策に取り組んでいきます。



## 個性あふれる作品を展示

2月2日から19日まで、市民文化会館で市民展覧会を開催しました。これは、市民の日頃の芸術創作活動の成果を披露するもので、美術・写真・書道の3部門計1,306点の作品を展示。会場を訪れた人は、ずらりと並んだ力作に見入っていました。